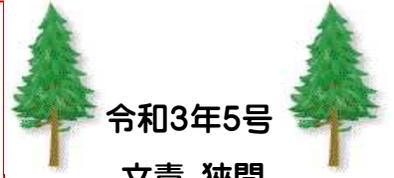




小国中学校 学校だより



気が付けば12月、クリスマスの飾り付けを様々なところで見かけるようになりましたが、2021年もあとわずかとなりました。朝夕の冷え込みがこたえる日々ですが、そういう中、自転車で登校してくる生徒らの姿を眺めながら、清々しい気持ちになる毎日です。先月の本校も様々な話題がありましたが、今号でも輝く生徒の姿をお伝えしていきます。



「輝き、響き合う」

10月8日(金)、「阿蘇郡市科学・発明工夫展」が開催され、本校から出品した6作品が下表のように全て入賞することが出来ました。それぞれに夏休み明けから放課後の時間を活用し、理科担当の内村教諭・坂本講師と共に、毎日、取り組んできた成果でした。

【科学展】	
○入 選:「甘いトマトはどうして沈むの」	河津結奈さん・長尾望愛さん
○佳 作:「メントスコーラの真実」	石松桜花さん・江藤美野さん・佐藤結心さん
○佳 作:「色彩職人～色の謎に迫る」	徳田一翠さん
【発明工夫展】	
○県優賞:「カギかけ忘れん」	佐藤悠仁さん
○県優賞:「テープの身長計」	原田賢太郎さん
○入 選:「どこでも手洗い器」	武石 琉さん

熊本県知事賞 佐藤悠仁さん 作品名:「カギかけ忘れん」
KKT(熊本県民テレビ)賞 原田賢太郎さん 作品名:「テープの身長計」

なお、発明工夫展で「県優賞」を受賞し、県大会に出品されていた佐藤悠仁さんと原田賢太郎さんの作品が右表のように、それぞれに最高位の県知事賞と特別賞(KKT賞)を受賞しました。4日(木)に益城町文化会館で開催された県主催表彰式に出席し、晴れやかな舞台上で堂々と受賞する姿を何よりも嬉しく思うばかりです。指導の内村教諭の報告では、この二人の受賞は、他の生徒の励みにもなっているとのこと、来年に向けて頑張りたいと言っている生徒もいるとのこと。お互いに高め合っていける何よりの機会になったことありがたく思っています。なお、二人の作品は全国大会にも出品されているとのこと。あらためておめでとうございます。



【小国町教育委員会への受賞報告の様子】

「GIGAスクール優良校認定」

「GIGA スクール構想」とは、文部科学省が義務教育を受ける児童生徒のために一人1台の学習者用PCや高速ネットワーク環境等を整備する5ヶ年計画のことで、その目的は子どもたち一人一人の個性に合わせた教育の実現を図るところにあります。

この構想をふまえて熊本県教育委員会は「くまもとGIGAスクールプロジェクト」を立ち上げ、本年度から3年間で、全ての小中学校がその基準を達成することをめざしています。阿蘇郡内でもその拠点校の募集があり、本年度、小国小中学校が立候補し、教育委員会の支援のもと取り組んでいるところです。

8月には小学校が、9月には中学校が日本教育工学協会(JAET)の「学校情報化優良校」として認定され、着実に成果を上げつつあります。もちろん認定されて終わりではなく、教師の指導力を含めた学習環境を整え、生徒の力を高めてこそその取り組みです。

これからも日々の授業を中心にこつこつと積み上げていきます。ご期待ください。



【優良校認定証をいただきました】

「SDGsはつながる言葉」

11月16日（火）、大阪府枚方市にある東海大学附属大阪仰星高等学校中等部の皆さんが修学旅行で来町され、本校生徒との交流会がありました。仰星中の皆さんも、SDGsについて学習しているとのことで、本町の取組の一環に学ぶ中で、本校との交流会の企画が持ち上がり実現した次第です。

最初に本校生徒会本部が、本校のSDGsの取組を紹介し、その後、仰星中の代表生徒による取組の紹介がありました。

SDGsという共通の取組ではありますが、その学び方にはそれぞれの学校の特色がありました。その相互の発表に学んだ後は、本校グラウンドで9年生がSDGs体操を披露し、交流することができました。限られた時間でしたが、これまでの自分たちの取組を振り返ると共に、他校の実践に刺激を受ける貴重な時間となりました。



【仰星中と小国中】

「SDGsで小国町を知る」

このSDGs学習については、小国町が町づくりの基本姿勢として掲げていることから、本校でも「総合的な学習の時間」において3年間をかけて、計画的・系統的に学ぶことにしています。その取組の一環として本校7年生が小国町による学習支援のもと11月4日（木）に「木魂館の木の駅プロジェクト」と「わたた地熱発電所」に学びました。

地域に出かけ、地域の特色を地域の方々に直に学ぶ取組には新しい発見がいっぱいだったようです。本校7年生にとってはこれからのSDGs学習で土台となる時間となったはずであり、今後も学び続けていきます。



【小国町の熱い取組】

「ありがとうございました」

すでにご存じのように、9年生が11月7日から9日にかけて念願の修学旅行を実施しました。もともと昨年度に計画していた行事ですが新型コロナウイルス感染症の感染拡大により幾度も延期しての実施でした。旅行会社と何度も協議を重ね、旅行先を変更しての実施でしたが、ご家庭の皆様方はもちろんのこと、全校生徒（全家庭）の新型コロナウイルス感染症



【「カツオのたたき」づくりに挑戦中】

への感染防止への協力と、小国町（教育委員会）にも万が一の場合に備えてのキャンセル料を予算だてしていただく等、様々な支援があつてこそその実施でした。笑顔一杯の表情で戻ってきた9年生の姿をただただ嬉しく思うばかりです。皆様のご支援にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。・・・次は8年生です。

「取り組んでいます」

11月18日（木）に小国小中学校では、小国町を含む阿蘇郡市7市町村教育委員会の指定を受けて、学力向上を目的とする研究発表会を実施しました。中学校では7年生が数学科（工藤教諭）、8年生が社会科（飯塚教諭）の研究授業を行いました。授業者二人とも本校生徒の集中力と授業を作っていく姿勢を強く感じながらの授業だったとのこと。

もちろん見る側も刺激を受ける授業でした。今回の研究発表会は、本来であれば大勢の参観者を集めて取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策の一環として、直接の参観はごく一部の方々のみ限定し、他の大勢の方々にはオンラインで視聴していただく形態をとりました。授業者以外の職員もそれぞれにオンライン配信のための役割を担っており、チーム小国の力を示してくれました。



【ゲストティーチャーは小国町役場の佐藤則和さん】